

平成22年度

私立学校実務者研修会 「教育課程と私学」研修会（西日本） 報告書

2010年6月24日

2010年6月26日土曜に「教育課程と私学」研修会（西日本）を、兵庫県私学会館（神戸市中央区北長狭通4-3-13）において開催した。本研修会は、6月19日土曜に「教育課程と私学」研修会（東日本）の西日本版であり、ほぼ同様なプログラムで進行した。

研修1－解説

演題「新学習指導要領の解説」

講師：梶山正司（文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教育課程 室長）

研修2－質疑応答

演題「新学習指導要領と教育課程に関する質疑応答」

講師：梶山正司（文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教育課程 室長）

研修3－研究協議 「私学の教育課程」

分散会1 平井豊和（松蔭中学・高等学校校長）

分散会2 増田史郎（神戸星城高等学校教務部長）

分散会3 松井忠幸（三田学園中学・高等学校教務部長）

分散会4 西山啓一（同志社香里中学・高等学校校長）

分散会5 坂間俊夫（京大外大西高等学校教諭）

分散会6 山崎吉朗（日本私学教育研究所専任研究員）

分散会7 大森隆實（日本私学教育研究所専任研究員）

参加者は、西日本を中心に119名であった。午前中の「新学習指導要領の解説」では、文部科学省の梶山正司室長から、高等学校学習指導要領「総則編」解説・新学習指導要領の解説（A4判60ページ）に基づき詳しい解説を頂いた。午後からは、「新学習指導要領と教育課程に関する質疑応答」を行い、予め5月末までに参加者に頂いた質問を整理してまとめ、この質問事項すべてを90分間でご回答頂いた。

まとめた質問事項は、「全体」、「総合的な学習の時間」、「学校設定科目及び学校外学修の単位認定」、「小学校」、「中学校」、「高等学校」、「移行措置」、「入試（大学、高等学校、中学校入試）」、「指導要録」に分類され、全部で43項目であった。加えて、当日の会場からも質問を頂き、回答があった。休憩後、7つの分散会（約20名）に分かれ、新しい学習指導要領に対応した「私学の教育課程」について、活発な情報交換が行われた。

研修会の事後のアンケートには、次のような意見が記されていた。

研修1－「新学習指導要領の解説」では、新学習指導要領の要点、全体像を確認することができました。自校の現状と比較し、課題を見いだすことができました。成績評価の在り方や指導要領につて、新しい情報が入手できました。

研修2－「質疑応答」では、同じような疑問点があり、参考になりました。

研修3－協議「私学の教育課程」では、電子化について本校も検討しており、問題点が出され今後の参考になりました。研修会を受講しての感想は、すでに作成された教育課程表を資料に意見交換できるとありがたいと思います。センター入試の内容を早く発表してほしい、理科と社会科系の組み合わせや配当学年を決めかねております。私学としての特色を考えるに当たり、今回の研修を通して、いろいろと理解できました。今後とも、研修会を参考にしてカリキュラム編成に取り組みます。

次回、11月に開催が予定されている「評価の在り方と指導要録（東日本・西日本）」にも参加したいとうご感想を多々頂くことができました。

（文責：山路）

